

＜対策のポイント＞

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、地域の再生エネルギー資源を活用した地域循環型エネルギーシステムの構築のための**再生可能エネルギー利用のモデル的取組及び未利用資源（稲わら、もみ殻、竹、廃菌床等）や資源作物のエネルギー利用を促進する取組**を支援します。

＜政策目標＞

カーボンニュートラルの実現に向けて、農林漁業の健全な発展に資する形で、我が国の再生可能エネルギーの導入拡大に歩調を合わせた、農山漁村における再生可能エネルギーの導入 [令和12年まで]

＜事業の内容＞

1. 農山漁村における再生可能エネルギー利用のモデル的取組支援

- ① 農業者、発電事業者、地方公共団体等を交えた**地域ぐるみの話し合い**によって、**適切な営農と農林漁業関連施設等への電力供給を両立する営農型太陽光発電のモデル**を策定する取組を支援します。
- ② 令和6年度に確立されたモデル又は①のモデルに基づき行われる、**営農型太陽光発電設備と蓄電池の導入実証**を支援します。
- ③ 農林漁業関連施設等への**次世代型太陽電池（ペロブスカイト）と蓄電池の導入実証**を支援します。

2. 未利用資源等のエネルギー利用促進への対策調査支援

- ① **バイオ燃料等製造に係る資源作物の栽培実証**
 国産バイオマスの一層の活用に向け、**荒廃農地等**を活用した資源作物由来のバイオ燃料等製造に係る検討、栽培実証、既存ボイラーにおける**燃焼実証**等を支援します。
- ② **未利用資源の混合利用促進**
 木質バイオマス施設等における**未利用資源の投入・混合利用を促進**するため、既存ボイラー形式等の仕様・運用実態等の調査や炉への影響や混合利用による効果の検証等を支援します。

※以下の場合に優先的に採択します
 ・みどりの食料システム法に基づく**特定区域**において取組を行う場合
 ・事業実施主体の構成員（農業者、民間団体等）が「**みどり認定**」等を受けている場合 等

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 農山漁村における再生可能エネルギー利用のモデル的取組支援



2. 未利用資源等のエネルギー利用促進への対策調査支援

